



見据え、(1)独立した金融政策は堅持するものの、(2)と(3)は△で、為替相場の変動と国際資本移動の自由化は徐々に認める方向に変わってきている。

このようにショックを受けたり、不透明感が強まったりする際に生まれるトリレンマは、3つのうち2つしか選択できないというのではなく、何かを選択する際に、何が問題になってくるのか、何が傷つくのかを見極めるものだろう。しかも諦めざるを得ない1つは、諦めないといけないものではなく、調整することによって、○を△にすれば、×を△に出来るものである。まずは「国際政治のトリレンマ」でこうした対応が望まれよう。

### ◆今週の一冊◆

糠谷先生おすすめの書籍です。



『父が娘に語る経済の話。』 ヤニス・バルファキス著、関美和訳 ダイアモンド社

本書は元ギリシャ財務相の著者による本。経済や金融の本質に関する事項を優しく解説しているが、決してレベルを落としているわけではない。特徴的なのは、格差、価格、労働力などの問題を小説や映画などを題材にして説明していく方法。小説を読むように、経済の話を読み進めることが出来る。

### ◎事務局から◎

2019年度、キャリアアップ・プログラム、カルチャー講座(2学期・3学期)受講申し込み受付中です!

詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp)

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <http://www.hue.ac.jp/>

発信元:広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)